

低層集合住宅用・複式メータボックス

クワトロ PAT Quattro

■東京都水道局登録済
■多数の水道事業体からも許認可取得済

飲水栓用配管対応タイプ
13mm量水器タイプ

メータユニット一体型で
1つのメータボックスに
最大4つの量水器を設置可能!

集中検針が可能!
漏水検出作業もラクラク!

省施工で
施工時間を短縮!

省スペースで
設置面積が
従来品より削減!

水と暮らしを結ぶ
株式会社 **クワチ** 0120-481-130

商品のお問合せは
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210

KLINGER AKITSU

欧州発祥クリンガー社のガスケットは
ノンアスベストの経験豊富。
材質の選定には、流体、温度、
圧力などの条件に適した素材を
お選びいただけます。

MADE IN AUSTRALIA
KLINGER top-sil-ML1
multilayer

高温用ジョイントシート
耐酸ジョイントシート
耐アルカリジョイントシート
膨張黒鉛ラミネート
超高音マイカシート
トップクム高性能PTFE
うす巻ガスケット
金属平板膨張黒鉛貼付
カンプロファイル

オーストラリア クリンガー社 日本総代理店
亜木津工業株式会社
総合ゴム加工メーカー

大阪 577-0011 大阪府東大阪市南本3-2-1 TEL:06-4309-2212 FAX:06-4309-2218
東京 125-0063 東京都葛飾区白鳥1-10-9 TEL:03-5654-8763 FAX:03-5654-8768
名古屋 462-0064 愛知県名古屋市中区大須町205 TEL:052-909-6720 FAX:052-909-6722
福岡 7812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-10-48 TEL:092-627-1777 FAX:092-627-1778

詳しくはカタログ・弊社担当営業へお問い合わせください。
http://www.akitsukogyo.com E-mail:info@akitsukogyo.com

水 震災時も安心 貯水槽給水方式

**貯水槽廻り給水用機器は
信頼と実績のFMバルブ製品で**

●FM定水位弁 ●FM緊急遮断弁 ●FMレベルキャッチャー (センサー式水位制御システム)

株式会社 FMバルブ製作所
http://www.fmvalve.co.jp

本社・工場 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下597 TEL: (04) 2944-2161 FAX: (04) 2944-0044
東京支店 大阪営業所 仙台営業所 名古屋営業所 九州営業所 札幌営業所

O-リング (日本工業規格表示許可 第386145号)
油・空気圧パッキン

ホームページで注文承ります。
協和シール工業 検索 高品質・短納期・低コスト

特殊Oリングをお探しの方、御自分で寸法を設定し検索できます。
(製品情報/金型検索)

摺動部用 パッキン
(油・空気圧用)

●Oリング ●空気圧用シールパッキン (X・Y・Uパッキン)
●油圧用シールパッキン (X・Y・Uパッキン) ●変圧シール・ガスケット ●ゴム成型金型

■量産システム・最新設備による低価格の実現。
■豊富な在庫による即納体制。
■豊富で好きなサイズと巾広い材質に対応可。
■シール設計、材料開発、評価試験による商品開発。

協和シール工業株式会社
〒950-3133 新潟市北区すみれ野2-5-31
TEL (025) 259-5776 FAX (025) 259-6965・259-6984・259-7360
●協和シール・フランス/Avenue de la Gare84400Apt(france) TEL (90) 74.41.40
E-mail ksinfo@kyowa-seal.co.jp
ISO-9001認証 ISO-14001認証

ステムナット摩耗自動計測システム

SAM Stemnut wear Automatic Measurement

摩耗見える化診断で安全性を確認

SAMは、アクチュエータを非分解で簡易的に
セッティングできる専用のセンサとソフトウェアにて、
ステムナットの摩耗量を定量的に計測することで、
ねじ山の健全性確認、データ蓄積による傾向管理
を行う事ができます。

●角度センサ ●リニアセンサ
●データロガー ●SAM アンプ
●PC
・データ解析
・自動診断
・結果保存
・レポート

日本ギア工業株式会社 WWW.NIPPON-GEAR.JP

流体制御の要

バルブ産業

建設需要に期待

バルブは配管と接続
し、流体(液体や気体)
を流す、止める、逆流を
防止する、量を調整する
などの働きを担う。日常
生活では水道、ガス管
自動車、産業設備ではタ
ンクやポンプなどへ活
し、流体に関わるあらゆる
設備や製品で品質管理
の決め手となっている。
液体、気体、可燃性、毒
性など流体の性質によ
って材質が金属か非金属
かが変わったり、圧力や
温度の違いによってもち
さまざまな構造のもの存
在する。

また、電磁弁と制御機
器を組み合わせて自動で
灌漑や施肥を行う農業資
材としても利用されてい
るが、近年、植物工場で
二酸化炭素(CO₂)濃
度の調節を行う制御シス
テムに利用されている。
バルブメーカーでも植物
工場のシステムなどに参
入している事例もある。
日本バルブ工業会の統
計によると、2012年
度のバルブの生産額は前
年度比4.2%減の38
40億円となった。輸出
額は同5.4%減の39
96億円、輸入額は同1
・5%減の1758億円
となっている。

09年にリーマン・シ
ョック以降の景気低迷で生
産額、輸出額、輸入額の
全てにおいて落ち込んだ
が、10年以降2年連続で
回復していた。しかし12
年は東日本大震災の復興
計画の遅れなどによる国
内需要の停滞や、円高
の影響による海外需要
の落ち込みも関係し、伸
び悩んだと考えられる。
しかし13年は復興関連
の進行や都市の再開など
による大型の建設需要
が見込まれるため、復調
も注力している。

の兆しはある。需要部門
別の生産額比率を見ると
建設設備用が36.6%で
最も多く、次いで水道用
が14.4%、合わせて
約50%のシェアを占め
る。建設需要に対する期
待は大きい。

輸出入ともに相手国の
1位は中国、次いで米国
となっている。その他
韓国、タイ、台湾、ベ
トナムなど東・東南アジ
ア地域が大きな市場とな
っている。積極的に海外拠
点を開設する企業もある
が、国内のバルブ製造企
業の多くは小規模の機械
加工を専門にしている工
場だ。海外展開しない企
業は国内でできる細かい対
応に注力している。日系企
業の海外生産シフトや新興
国市場の拡大に伴って価
格競争は激しくなってい
るが、日本の高い技術力
を生かし安全、安心への
ニーズに応えていく。
業界全体としては、人
材の確保や技術の継承を
円滑に進めていくことを
目標に掲げ、バルブ産業
の認知度を上げること

60th Since 1954

学生のパルプへの提言書募集

日本バルブ工業会は14年3
月21日に創立60周年を迎え
る。現在、これを記念して学
生懸賞論文コンテストの募集
を行っている。論文テーマは
「私達の暮らしと産業とパル
プとの深い関わりから考え
る、これからの社会への希望
や、バルブ業界への提言」。
このテーマを自由に解釈し、
自由な発想で2000～40
00字にまとめる。応募資格
は国内の高校、高専、大学、
大学院に在籍する個人。最優
秀賞(賞金10万円)、優秀賞

**工業会創立60周年記念
懸賞論文コンテスト**

(同10万円)、佳作(同5万
円)、入選(同1万円)を表
彰する。締め切りは11月29
日。ホームページ上の所定の
フォームから郵送で受け付け
る。作品は同工業会懸賞論文
審査委員会(大田英輔委員長
、早稲田大学名誉教授)で14
年2月中旬までに選考し、3
月中旬に発表する。緑の下の
力持的な存在であるバルブ
について学生から提言を募集
することで、人材の確保やバ
ルブ産業の地位向上などに
なっていく。

kawaden Patent

震災時緊急遮断弁システム

電気二重層キャパシタ駆動自動弁 **CAPACON** キャパコン

省エネと信頼を追求して...

**緊急操作
自己診断
安心確実**

製造・販売
株式会社 カワデン

大阪本社 〒554-0052 大阪市此花区常吉1-1-55(テクノパーク常吉11・12号地)
TEL 06-6468-3511(代) FAX 06-6468-3611
東京支店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5(ダイヤモンドビル5F)
TEL 03-3526-6331(代) FAX 03-3526-6224

問い合わせは右記メールにご連絡願います E-mail info@kk-kawaden.co.jp

世界から信頼されるモノづくり

電磁弁からブリザーバルブまで、安心安全の「SIL 品質」

金子産業の「モノ作り」とは時代の要求に新しい価値を見だし、具体的な「カタチ」として
応えることです。そして、それこそが本物の価値創造であり、「モノ作り」の本質であると信
じています。物事の本質を見極め、まだ世の中に存在しないものを創りだしていくこと、あら
ゆる流体制御を可能にすることこそ、金子産業の存在理由があると考えています。

電磁弁
ブリザーバルブ
キーパーブリザー

IEC61508 JIS0508 SIL 取得!

金子産業株式会社
本社 〒108-0014 東京都港区芝5丁目10番6号
電話 03(3455) 1411(代)
FAX 03(3456) 5820
H P http://www.kaneko.co.jp